

「神奈川県営水道事業経営計画」の取組状況について（令和7年度）

1 趣旨

県営水道では、令和6年度から「神奈川県営水道事業経営計画」（以下「経営計画」という。）に基づき取組を進めており、令和7年度の取組状況は次のとおりです。

2 経営計画の概要と取組状況

県営水道では、厳しさを増す経営環境において持続可能な県営水道とするため、基本理念として掲げる3つの柱（「安心」・「持続」・「貢献」）のもと、30年後の「目指す姿」と「取組の方向性」を示した「神奈川県営水道長期構想」（令和6年度から令和35年度）を策定しました。

そして、その実現に向けた中期的な事業実施計画として経営計画を策定し、引き続き安全で良質な水を安定的に供給する使命を果たすため、6つの「取組の方向性」に基づく個別事業を位置付け、事業運営を行っていきます。

(1) 計画期間

5年間〔令和6年度から令和10年度〕

(2) 主要事業の概要と取組状況

ア 「安全で良質な水道」に向けた個別事業

水質検査機器等の適切な保守管理や計画的な更新に加え、新たな水質の課題について、規制強化等の国の動向を注視し、水質検査体制を整備するなど適切に対応いたします。

〔取組状況〕

- ・ 国の法令改正により、有機フッ素化合物のPFOS及びPFOAが水質基準に追加されることを踏まえ、水質検査体制の整備を図りました。

イ 「将来にわたり適切に管理された水道」に向けた個別事業

水需要の減少を踏まえた適正な施設規模に向けて、管路等のダウンサイジング、配水池の統廃合及び寒川第2浄水場の廃止に向けた取組を進めます。

また、5事業者と共通する課題の解決に向けて、水道システムの再構築の取組を進めます。

〔取組状況〕

- ・ 寒川第2浄水場の廃止（令和12年度を目途）に向けた、配水管改良工事やポンプ所の整備等を実施しています。
- ・ 水道施設の長寿命化に向けた取組として、配水管の劣化状況等

の調査や、配水池の健全度診断を実施しました。

- ・ 谷ヶ原浄水場の再整備に向けて基本計画を策定するために有識者による懇話会を開催しました。
- ・ 5事業者による「水道システム再構築」に係る施設整備の着手に向け、相模川への影響調査を行い、魚類への影響やその対応策について有識者から意見を聴取しました。

ウ 「災害・事故にも強い水道」に向けた個別事業

被災時の断水被害を抑え、復旧日数を短くするため、断水の影響が大きい基幹管路や、重要給水施設への供給管路などを優先的に更新し、耐震化を進める、効果に着目した「戦略的な管路整備」に取り組むほか、浄水場の浸水対策、火山対策やポンプ所の停電対策を進めます。

効果に着目した施設整備



[取組状況]

- ・ 基幹管路の耐震適合率について、計画目標の75%に向けて、22路線で基幹管路の耐震化を進めています（P5グラフ）。
- ・ 重要給水施設（災害協力病院、避難所等）への供給管路について、計画目標78箇所のうち、19箇所の耐震化が完了しました（P6グラフ）。
- ・ 谷ヶ原浄水場の横流沈殿池や、主要配水池について耐震補強工事等を実施しました。
- ・ 揚水ポンプ所の停電対策として、計画目標6箇所のうち、2箇所が完了しました（P9グラフ）。
- ・ 令和7年6月に鎌倉市内で発生した大規模な漏水事故をはじめ、全国各地で老朽化した鋳鉄管を原因とする漏水事故が相次いでい

ることを背景に、国からの要請を受けて、令和8年1月に「神奈川県営水道鑄鉄管更新計画」を策定しました。

- ・ 突発的な断水事故等の発生時に各市町が行う応急給水を支援するため、仮設水槽を購入するとともに、各市町と合同で仮設水槽を使用した訓練を実施しました。



エ 「環境にやさしい水道」に向けた個別事業

脱炭素社会の実現に向けて、施設更新に合わせて、ポンプ設備等の省エネルギー化に取り組むとともに、工事により発生する土砂等の削減や再生資源化を図ります。

[取組状況]

- ・ 企業庁庁舎等の照明をLED化するため、ESCO事業の手法を活用して10施設を対象とする委託契約を締結しました。
- ・ 老朽した空調設備について、4箇所で省エネルギー機器への更新を行いました。
- ・ 新たに整備した七沢加圧ポンプ所において太陽光発電設備を導入しました。
- ・ 浄水場で発生する浄水発生土を、園芸用土等へ100%再生利用しています。
- ・ 水道施設で使用する電力を「再生可能エネルギー由来の電力」に切り替えることで、CO₂排出量の削減を図りました。

オ 「経営基盤の確立された水道」に向けた個別事業

ICTをはじめとする技術を活用し、工事管理業務の効率化や、給水装置工事申請手続きのオンライン化を進めます。

また、水道料金の水準等の定期的な検証や、交付金の確保等により、財政の健全性を高めるとともに、持続可能な組織体制を構築します。

[取組状況]

- ・ 効率的な漏水調査方法に向けて、AIによる漏水音の解析や管網劣化診断について民間企業との共同研究を進めました。
- ・ 水道スマートメーターの導入に向け、電力会社との共同検針を検証するフィールドテストへの準備として無線端末の性能調査等

を行いました。

- ・ 水道工事における施工管理の効率化として、モバイル端末を利用した施工支援システムを導入しました。
- ・ 給水装置工事申請について、工事事業者の利便性の向上と業務の効率化を図るため、電子申請に向けたシステム開発に着手しました。
- ・ 県営水道出先組織再編に向けた施設整備として、大和水道営業所の建替に関する基本設計等を実施しました。
- ・ 職員の人材確保対策の一環として、教育機関等と連携し、現場見学会やインターンシップを実施しました。
- ・ 将来にわたる持続可能な水道の実現に向けて、大規模地震に備えた水道施設整備等を着実に進めるため、水道料金の改定を令和6年度から3年かけて段階的に進めており、令和7年10月に2回目の改定（改定前と比べて19%増）を実施しました。

【主な変更点】

- ・ 用途別料金体系から口径別料金体系への見直し
- ・ 口径別に基本水量と基本料金を設定
- ・ 令和6年10月に16%※、令和7年10月に19%※、令和8年10月に22%※と
激変緩和措置として段階的な料金改定を実施（※ 現行料金との比較による割合）

カ 「信頼に應える水道」に向けた個別事業

県営水道への信頼を高めるため、わかりやすい広報による情報発信やお客様ニーズの把握に取り組みます。

また、地域社会や国際社会へ貢献するため、箱根地区水道事業包括委託（第3期）における「公民連携かながわモデル」の本格運用や海外への技術協力などを進めます。

〔取組状況〕

- ・ 企業庁LINE公式アカウントにより、突発断水等の緊急情報等を迅速に情報提供しています。
- ・ デジタル技術を活用した小学生向けの新たな水道学習コンテンツとして、「ウォータークエスト～水道探検じゃ口の向こうを知ろう」を制作しました。
- ・ ベトナム国フンイエン省と技術協力の具体的な協議を進め、令和7年9月に年次計画を策定しました。ランソン省とは令和7年12月に覚書を3年間延長し、技術協力を継続することとしました。

水道事業経営計画 取組状況個票

観 点： 将来にわたり適切に管理された水道

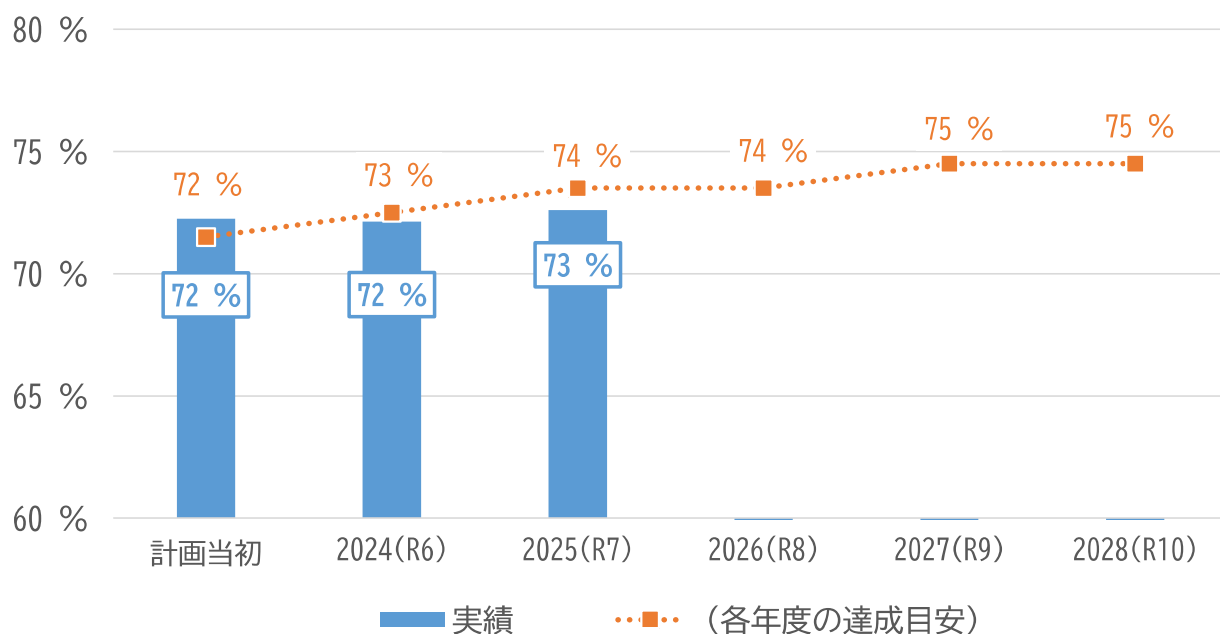
目指す姿： 施設が適切に維持管理され、計画的に更新されています

事 業 名： 戦略的な管路整備（管路更新）

目 標： 基幹管路の耐震適合率を「72%」から「75%」に高める

進捗状況		計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 決算値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
耐震適合率		72 %	72 %	73 %			
（各年度の達成目安）		72 %	73 %	74 %	74 %	75 %	75 %
判定			未達成	未達成			
（参考）	新たに工事に着手した路線数	—	0 路線	1 路線			
	（策定当初の実施予定）	—	0 路線	0 路線			12 路線
	新たに布設工事を行った延長	—	5.6 km	12.5 km			
	（策定当初の実施予定）	—	6.5 km	13.8 km	21.2 km	29.1 km	36.0 km

基幹管路の耐震適合率



水道事業経営計画 取組状況個票

観 点 : 災害・事故にも強い水道

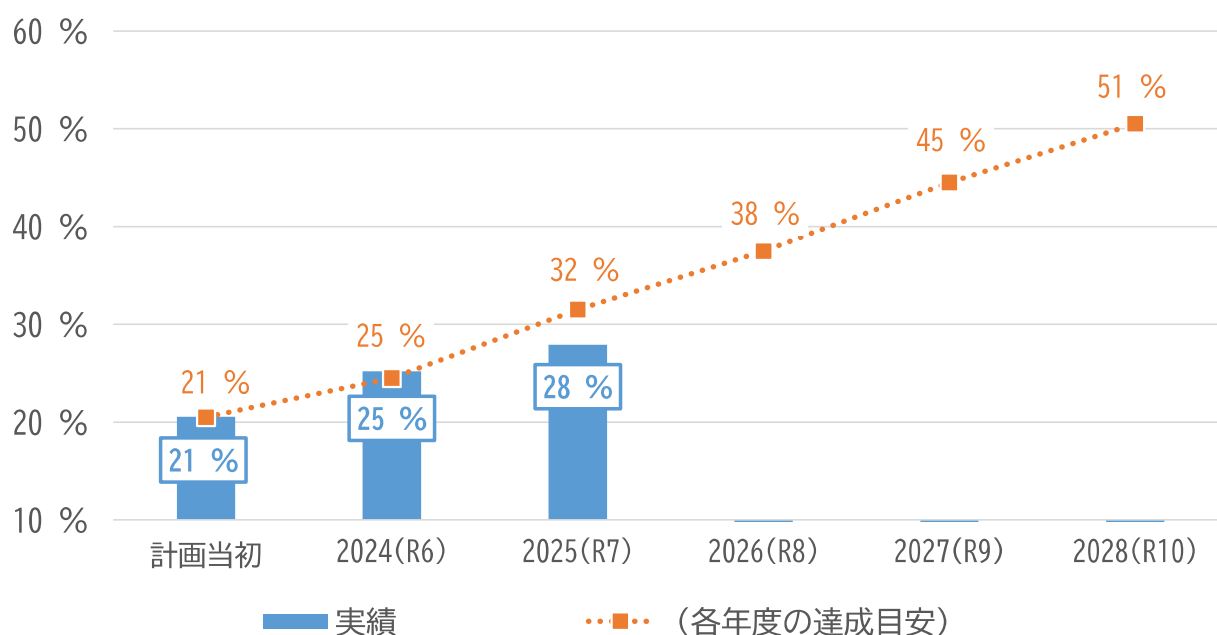
目指す姿 : 大規模地震発生時においても、基幹施設の被害を最小限に抑える対策がなされています

事 業 名 : 戦略的な管路整備（耐震化）

目 標 : 供給管路が耐震化された重要給水施設を「５３か所（２１％）」から「１３１か所（５１％）」に増やす

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 決算値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
重要給水施設の数	258 か所	258 か所	258 か所	258 か所	258 か所	258 か所
うち、供給管路が耐震化された重要給水施設の数	53 か所	65 か所	72 か所			
（各年度の達成目安）	53 か所	65 か所	83 か所	97 か所	116 か所	131 か所
供給管路が耐震化された重要給水施設の割合	21 %	25 %	28 %			
（各年度の達成目安）	21 %	25 %	32 %	38 %	45 %	51 %
判定		達成	未達成			

供給管路が耐震化された重要給水施設の割合



水道事業経営計画 取組状況個票

観 点 : 災害・事故にも強い水道

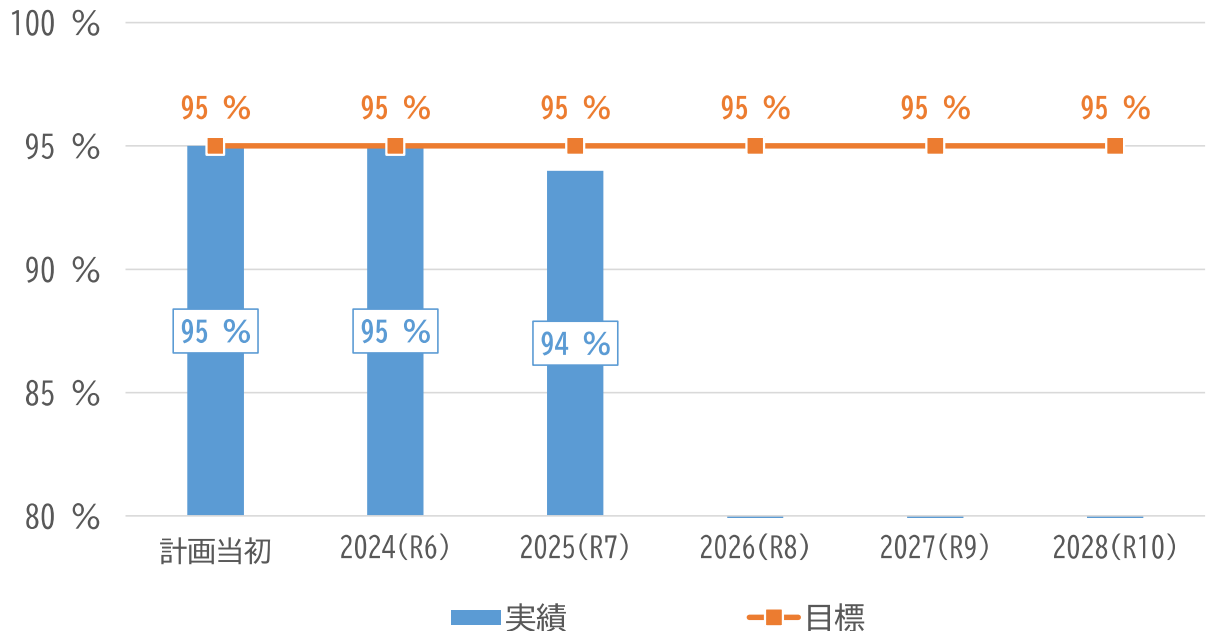
目指す姿 : ストレスを感じることがなく生活が送れるよう、安定給水が継続されています

事 業 名 : 効果的な漏水対策

目 標 : 漏水の有効率を毎年度「95 %」以上とし、有効率の維持・向上に取り組む

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)
漏水の有効率	95 %	95 %	94 %			
(各年度の達成目安)	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %
判定		達成	未達成			

漏水の有効率



水道事業経営計画 取組状況個票

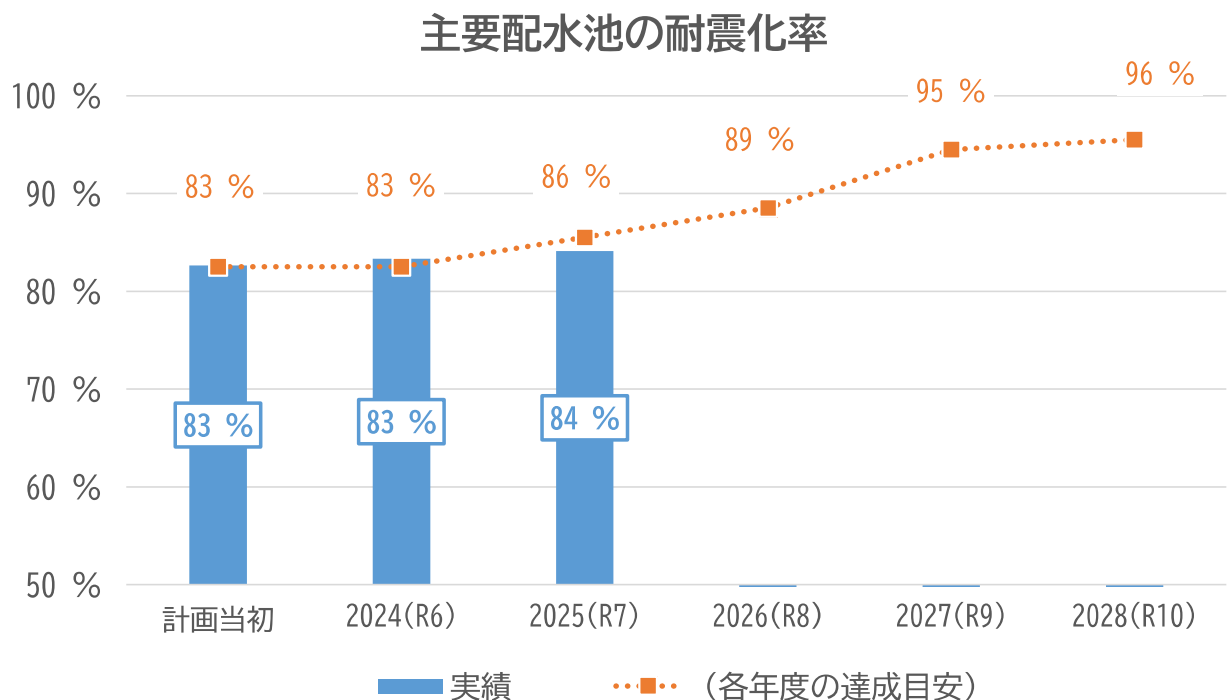
観 点： 災害・事故にも強い水道

目指す姿： 大規模地震発生時においても、基幹施設の被害を最小限に抑える対策がなされています

事 業 名： 配水池等の耐震化

目 標： 主要配水池（一次配水池及び災害用指定配水池）の耐震化率を「83%」から「96%」に高める

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)
耐震化率	83 %	83 %	84 %			
（各年度の達成目安）	83 %	83 %	86 %	89 %	95 %	96 %
判定		達成	未達成			



水道事業経営計画 取組状況個票

観 点 : 災害・事故にも強い水道

目指す姿 : 激甚化する様々な災害・事故に対し、被災した場合にも迅速に対応できる対策がなされています

事 業 名 : 揚水ポンプ所の停電対策

目 標 : 停電対策を実施した揚水ポンプ所数を「12か所」から「18か所」に増やす

進捗状況	計画当初	2024(R6) 決算値	2025(R7) 計画値	2026(R8) 計画値	2027(R9) 計画値	2028(R10) 計画値
停電対策を実施した数	12か所	13か所	14か所			
(各年度の達成目安)	12か所	13か所	14か所	16か所	16か所	18か所
判定		達成	達成			

停電対策を実施した揚水ポンプ所の数

